

SC-43 ベスト・アドバイス

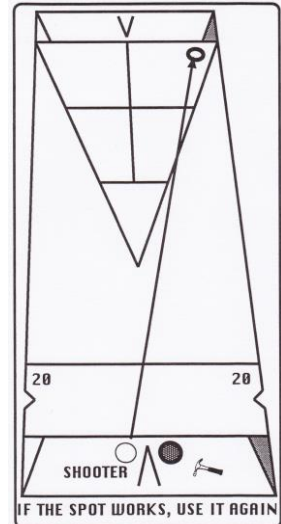
“Best advice” by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

私がジェイ・スノディから受けたベスト・アドバイスを紹介する。ジェイはそれをウェブ・スミスから受けた。2人共、疑いなく歴代トップ5に入るシャフラーだ。

そのアドバイスは非常に単純で、「先ず、今日自分がうまくプレーができるコートの部分を見つけて、そこを何度も使い続ける」。

レイクランドでのシングルス・ゲームで、私の対戦相手のアーニー・ノドラーが、第7ディスクをコーナー7にシュートした。図に示す。彼は気楽にシュートし、彼のディスクはレーザーに誘導されたように進んで、彼が望んだ場所に糊があったように止まった。私はハンマーでそれをクリアしたが、得点できなかった。私の次のハンマーの時も、彼は再びそのコーナーにうまくシュートし、私は再び得点できなかった。彼は何度も何度もその場所を使った。彼は自分がうまくやれる所を見つけて、それを使ったのだ。



4度ナショナルチャンピオンになったデイブ・カラスカがレイクサイドでのゲームで、ハンマーの時に相手側エリアがブロックされていたので、自分側にシュートして8エリアのど真ん中に得点した。彼の次のハンマーの時、両側の8エリアがオープンだったが、彼が好きな相手側でなく、うまくやれた自分側の8エリアにシュートして、再びど真ん中に得点した。そのゲームで、その場所に7度得点した。

ブラデントンでのゲームで、地元のトッププレイヤーがセントピートとタンパの背後に得点するルートを、ゲーム前のプラクティスでテストしていた。セントピート背後へのショットはうまくいったが、タンパ背後へのショットはうまくいかなかった。彼はゲームの最初のフレームで、セントピートの背後にうまく得点し、そのハイドを何度も何度も使って勝った。

クリヤウォーターでのゲームで、フロリダのプロが、相手の7得点ディスクを何度もキッチンに入れるのを見た。その全てが、相手ディスクをコートセンターの10オフに入れ、外側寄りに自分の7得点を残すというスプリット・キッチン(split kitchen)だった。

別のゲームで、優れたプレイヤーがハイ10に続けて6度得点したのを見た。彼は止め易い所を見つけて、使い続けたのだ。

あるゲームで、私はタンパ背後に隠すルートが非常に調子良かったので、そのチャンスが来た時は全て使って、うまくいった。

ウインターシーズンのベストプロを決めるフロリダ・マスターズのゲームで、プレイヤーの1人が、センターライン・ダブルを5度成功したのを見た。彼は「プラクティスでうまくいったので、そのプレーをした。全くミスしなかったので続けた」と言った。